

シンポジウム：「アフリカにおける21世紀の人材育成」-あしなが100年構想と TICAD VI-



竹内 直樹
豊田通商株式会社執行役員
1981年同社入社。中南米、アフリカなどで自動車販売・物流などの事業立ち上げに従事。15年に及ぶ駐在経験を経て2013年より現職。新興国での事業強化を担う。

「ケニアの成長に貢献し、いい国になれば、また商売が發展するというサイクルを成功させたい」



山田 肖子
名古屋大学大学院国際開発研究科教授
専門はアフリカにおける教育・人材開発及び途上国の開発政策研究。アフリカと20年以上の関わりを持つ。民間財団、開発コンサルタント、政策研究大学院大学などを経て現職。

「100年構想の視点は、包摂性が重要だという今日の課題にまさに合致している」



近藤 哲生
UNDP 駐日代表事務所代表
1981年外務省入省。フランス、国連代表部などで勤務。2005年UNDP(国連開発計画、1996年国連総会にて創立)に入所し、14年より現職。東京大学大学院非常勤講師。

「あしなが育英会の理念と TICAD のプロセスとは軌を一にするものだ」



戸田 隆夫
JICA 人間開発部 部長
1984年 JICA 入局。米国外務省次長、平和構築支援室長、人間の安全保障グループ長、ハンガリー事務所所長などを経て現職。学術博士(名古屋大学大学院 2009年)。

「ビジョンは人間の安全保障。教育支援の果てには、平和な社会を作りたいという思いがある」



山田 優花
あしながウガンダ現地代表
2010年本会入局。会長秘書を経て、2012年よりウガンダ勤務となり、2013年より現職。2015年から、アフリカ幼児高等教育支援100年構想候補生の採用・教育も担当。

「私たちが支援する学生たちには自身の受けた教育を、ほかの人の幸せにつなげてほしい」



丸山 則夫
外務省アフリカ部 部長
1983年外務省入省。在フランス日本国大使館、中東アフリカ局アフリカ第一課長、欧州連合日本政府代表部、大臣官房参事官などを経て2014年より現職。

「日本の心をどうやってアフリカの人々、アフリカの開発のためにつなげていくか、これが一番重要」

世界があしながメソッドを求めている

基礎教育から高等教育重視へ
出田(徳) 世界には、基礎教育から高等教育まで、幅広い教育ニーズがある。あしながファミリーは、基礎教育から高等教育まで、幅広い教育ニーズに対応できる「あしながメソッド」を開発している。これは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開するための重要なツールである。

国連、国際社会の取り組み
出田(徳) 国連や国際社会は、持続可能な開発目標(SDGs)の中で、教育の質と包摂性を重視している。あしながファミリーの取り組みは、この国際的な潮流と完全に一致している。

なぜ企業が人材育成に参加？
出田(徳) 企業は、人材育成を通じて、社会の発展に貢献し、自社の持続可能性を高めることができる。あしながファミリーの「あしながメソッド」は、企業が人材育成に参加するための最適なソリューションを提供している。

100年構想の可能性
出田(徳) あしながファミリーの100年構想は、教育の質と包摂性を高めることで、社会の持続可能な発展を実現することを目指す。これは、世界の多くの国々が求めている方向性であり、大きな可能性を秘めている。

あしなが運動の今日的意義
出田(徳) あしなが運動は、教育を通じて社会の発展を促進し、貧困を削減するための重要な役割を果たしている。今日のグローバルな課題を解決するために、あしなが運動の今日的意義はますます大きくなっている。

日本らしい教育支援とは
出田(徳) 日本らしい教育支援とは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開することである。あしながファミリーは、この日本らしい教育支援を実現するために、「あしながメソッド」を開発している。

日本の心を伝える「丸山・総括」
出田(徳) 丸山部長の総括は、日本の心を伝えるための重要なメッセージである。これは、アフリカの人々に対して、日本の教育支援の意義と価値を伝えるための重要なツールである。

「アフリカにおける21世紀の人材育成」
-あしなが100年構想と第6回アフリカ開発会議(TICAD VI)-

「アフリカ開発会議でも、人材育成は重要な課題」(丸山)

「あしながメソッド」は、アフリカの人材育成に重要な役割を果たしている。これは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開するための重要なツールである。

あしながファミリーは、教育の質と包摂性を高めることで、社会の持続可能な発展を実現することを目指す。これは、世界の多くの国々が求めている方向性であり、大きな可能性を秘めている。

あしなが運動は、教育を通じて社会の発展を促進し、貧困を削減するための重要な役割を果たしている。今日のグローバルな課題を解決するために、あしなが運動の今日的意義はますます大きくなっている。

日本らしい教育支援とは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開することである。あしながファミリーは、この日本らしい教育支援を実現するために、「あしながメソッド」を開発している。

丸山部長の総括は、日本の心を伝えるための重要なメッセージである。これは、アフリカの人々に対して、日本の教育支援の意義と価値を伝えるための重要なツールである。

課題は教育の質と包摂性
出田(徳) 教育の質と包摂性は、社会の持続可能な発展を実現するための重要な課題である。あしながファミリーは、この課題を解決するために、「あしながメソッド」を開発している。

4つのあしながメソッド
出田(徳) あしながメソッドは、4つの主要な要素から構成されている。これらは、教育の質と包摂性を高めるための重要なツールである。

あしながファミリーは、教育の質と包摂性を高めることで、社会の持続可能な発展を実現することを目指す。これは、世界の多くの国々が求めている方向性であり、大きな可能性を秘めている。

あしなが運動は、教育を通じて社会の発展を促進し、貧困を削減するための重要な役割を果たしている。今日のグローバルな課題を解決するために、あしなが運動の今日的意義はますます大きくなっている。

日本らしい教育支援とは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開することである。あしながファミリーは、この日本らしい教育支援を実現するために、「あしながメソッド」を開発している。

丸山部長の総括は、日本の心を伝えるための重要なメッセージである。これは、アフリカの人々に対して、日本の教育支援の意義と価値を伝えるための重要なツールである。

アフリカの人材育成、課題と方法
出田(徳) アフリカの人材育成には、教育の質と包摂性を高めることが重要である。あしながファミリーは、この課題を解決するために、「あしながメソッド」を開発している。

あしながファミリーは、教育の質と包摂性を高めることで、社会の持続可能な発展を実現することを目指す。これは、世界の多くの国々が求めている方向性であり、大きな可能性を秘めている。

あしなが運動は、教育を通じて社会の発展を促進し、貧困を削減するための重要な役割を果たしている。今日のグローバルな課題を解決するために、あしなが運動の今日的意義はますます大きくなっている。

日本らしい教育支援とは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開することである。あしながファミリーは、この日本らしい教育支援を実現するために、「あしながメソッド」を開発している。

丸山部長の総括は、日本の心を伝えるための重要なメッセージである。これは、アフリカの人々に対して、日本の教育支援の意義と価値を伝えるための重要なツールである。

「あしながメソッド」は、アフリカの人材育成に重要な役割を果たしている。これは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開するための重要なツールである。

あしながファミリーは、教育の質と包摂性を高めることで、社会の持続可能な発展を実現することを目指す。これは、世界の多くの国々が求めている方向性であり、大きな可能性を秘めている。

あしなが運動は、教育を通じて社会の発展を促進し、貧困を削減するための重要な役割を果たしている。今日のグローバルな課題を解決するために、あしなが運動の今日的意義はますます大きくなっている。

日本らしい教育支援とは、日本の教育現場で培ったノウハウを、アフリカなどの途上国に展開することである。あしながファミリーは、この日本らしい教育支援を実現するために、「あしながメソッド」を開発している。

丸山部長の総括は、日本の心を伝えるための重要なメッセージである。これは、アフリカの人々に対して、日本の教育支援の意義と価値を伝えるための重要なツールである。

アフリカ開発会議(TICAD)は日本政府が主催し、国連、UNDP、アフリカ開発委員会、世界銀行と共同で開催。2016年8月のTICAD VIは初のアフリカ(ケニア)での開催となる。